

帖佐校区まちづくりプラン

ふれあいの心豊かなひとづくり
思いやり和と輪の絆でまちづくり



帖佐人形・始良市歴史民俗資料館展示

平成29年12月
鹿児島県始良市
帖佐校区コミュニティ協議会

<目 次>

はじめに	2
I 帖佐校区の概要	3
(1) 帖佐校区の位置	3
(2) 帖佐校区の特色ある風景・史跡・伝統芸能等	5
(3) 帖佐校区コミュニティ協議会の組織体制	9
II 帖佐校区の現状と課題	10
(1) 帖佐校区の現状	10
(2) 帖佐校区の課題	11
III 帖佐校区が目指す将来像	13
(1) 分野別の目標	14
(2) 専門部別の取組みと役割分担	15
IV 計画の推進に向けて	19
V 資料編	20
1. 自治会別5年間の世帯数	21
2. まちづくりプラン策定の経過	22
3. 帖佐校区まちづくりプラン策定委員	23
4. アンケート調査結果	24

はじめに

平成27年8月に設立いたしました「帖佐校区コミュニティ協議会」は、これまで自治会など校区内各団体の特色を活かしながら 4つの専門部毎の実施計画に基づき 校区コミュニティとして活力ある地域づくりを目指し活動を続けてまいりました。

今回、帖佐校区コミュニティ協議会が発足2年目を迎えるにあたり、まちづくりプラン策定委員会を新たに組織し、アンケート調査や皆様から寄せられたご意見などをもとに 校区が目指す将来像について検討をすすめてまいりました。

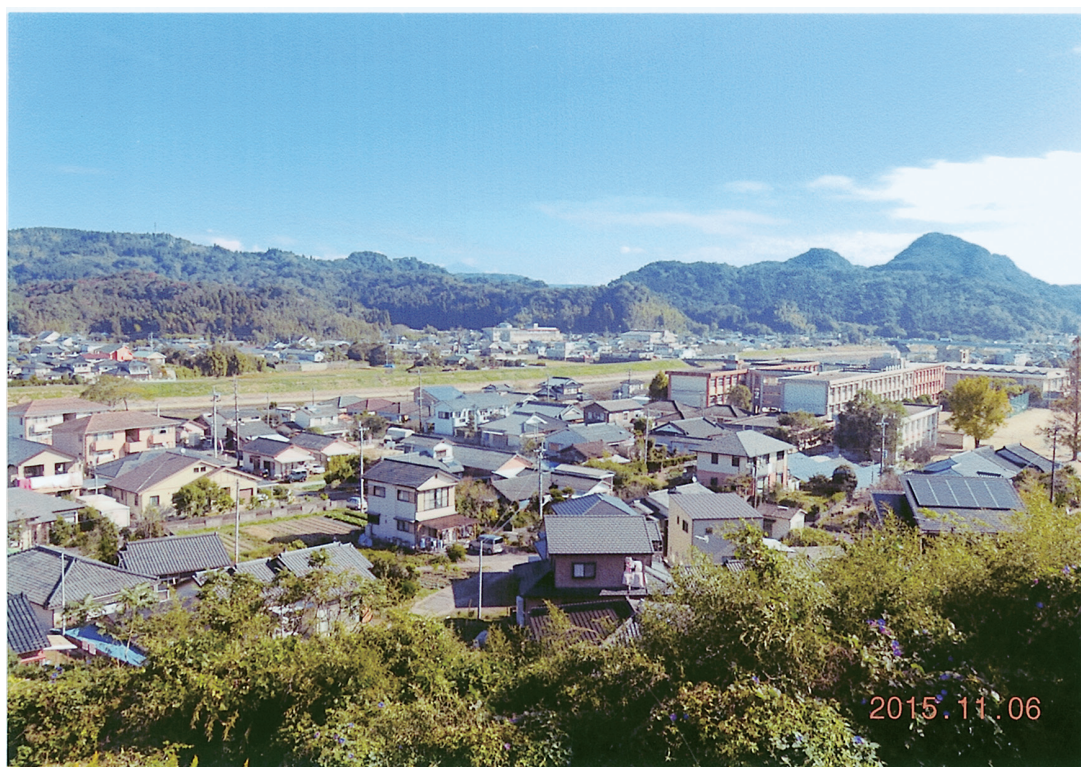
まとめられた「帖佐校区まちづくりプラン」では

「ふれあいの心豊かなひとづくり」「思いやりの和と輪の絆でまちづくり」をスローガンに掲げ校区の皆様が一体となって活力あるまちづくりを推進していくための指針となるまちづくりプランを策定いたしました。

このプランで掲げた目標を達成するには 地域と行政の役割分担(自助、共助、公助)と校区の皆様との理解と協力が不可欠になりますので、自治会など各団体とも連携を図りながら 帖佐校区の元気あふれるまちづくりに取り組んでまいります。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

帖佐校区コミュニティ協議会

会長 大重 洋二



みさと台から望む校区

I 帖佐校区の概要

(1) 帖佐校区の位置

○校区の歩み・概要

始良市のほぼ中心部に位置し、別府川(県2級河川)をはさんで16の自治会で構成されている。

校区の変遷を見てみると

- ・明治5年 米山小学校(現・帖佐小学校)創立時は小学校付近の帖佐麓方限が当初の校区
- ・明治44年 建昌小学校の創設と同時に森部落の菅小学校(現在は廃校)に通学していた「高樋」「上場」地区の児童が帖佐小学校に編入され、両地区が帖佐校区に加わる。
- ・昭和49年4月「青葉台団地」が帖佐校区に編入
- ・昭和55年4月「朝日ヶ丘団地」が帖佐校区に編入
- ・平成元年4月「上場団地県営住宅」が帖佐校区に編入
- ・平成2年4月「みさと台団地」が帖佐校区に編入

を経て現在に至る。

帖佐校区の位置図（自治会概略図）



(2) 帖佐校区の特色ある風景・史跡・伝統芸能等

《島津義弘居館跡石垣》



文禄4年(1595年)朝鮮の役から引き揚げた島津義弘は栗野から帖佐に移り、慶長11年平松に移るまでの10年間をこの帖佐居館地ですごした。南九州の政治の中心地の一つ。

百間四方で北から東南にかけて高さ2間程の野面積みの石垣が残っており、前面石垣中には義弘の羽織掛石も見られる。

(市指定史跡) 始良市鍋倉 帖佐稻荷神社

《古帖佐焼宇都窯跡》



島津義弘は、文禄4年朝鮮の役から引き揚げるときに80数名の陶工を連れ帰った。串木野の島平、市来の神之川 鹿児島県に上陸した陶工のうち最も勝れた陶工の金海、芳仲等を帖佐宇都の御屋地に召しよせた。義弘はその麓に窯を築き高麗伝法の陶器を焼かせた。ここでの焼物が基礎になってのちに白薩摩とよばれる鹿児島県を代表するすぐれた薩摩焼が生まれた。

(県指定 史跡) 始良市鍋倉1375・1376

《膝跪驛の墓》



鍋倉宇都亀仙院に島津義弘の愛馬「膝跪驛」の墓がある。

元龜3年木崎原合戦の折、島津義弘は敵将伊藤新次郎と渡り合った。この戦いで義弘公は危なかったが突如馬が前膝を曲げたので義弘公の槍が敵将を刺した。これ以降この馬を膝跪驛と呼ぶようになったという。義弘は52回の合戦に出陣、そのうち20余回もこの馬に乗っている。

(市指定 史跡) 始良市鍋倉 亀仙院

《帖佐八幡神社浜下り》



700年前の鎌倉時代後期に起源をもち、帖佐をおさめた平山氏一族の苦勞を偲ぶ伝統行事。島津義弘居館跡の帖佐稻荷神社から松原地区にある御門神社まで片道5kmの武者行列が行われる。

目的地の御門神社は、京都の石清水八幡宮から分霊された祭神が帖佐八幡神社に迎え入れられる際、最初に着船した地として伝えられている。

実施日 毎年11月の第2日曜日

(市指定 無形民族文化財)

始良市鍋倉 新生八幡神社

《帖佐十九日馬踊り》



島津義弘の愛馬の墓が神社近くにあることに由来するとされ鹿児島神宮初午祭翌日の旧暦1月19日に踊られていた。戦後一時期途絶え、地元住民らが2000年に復活した。

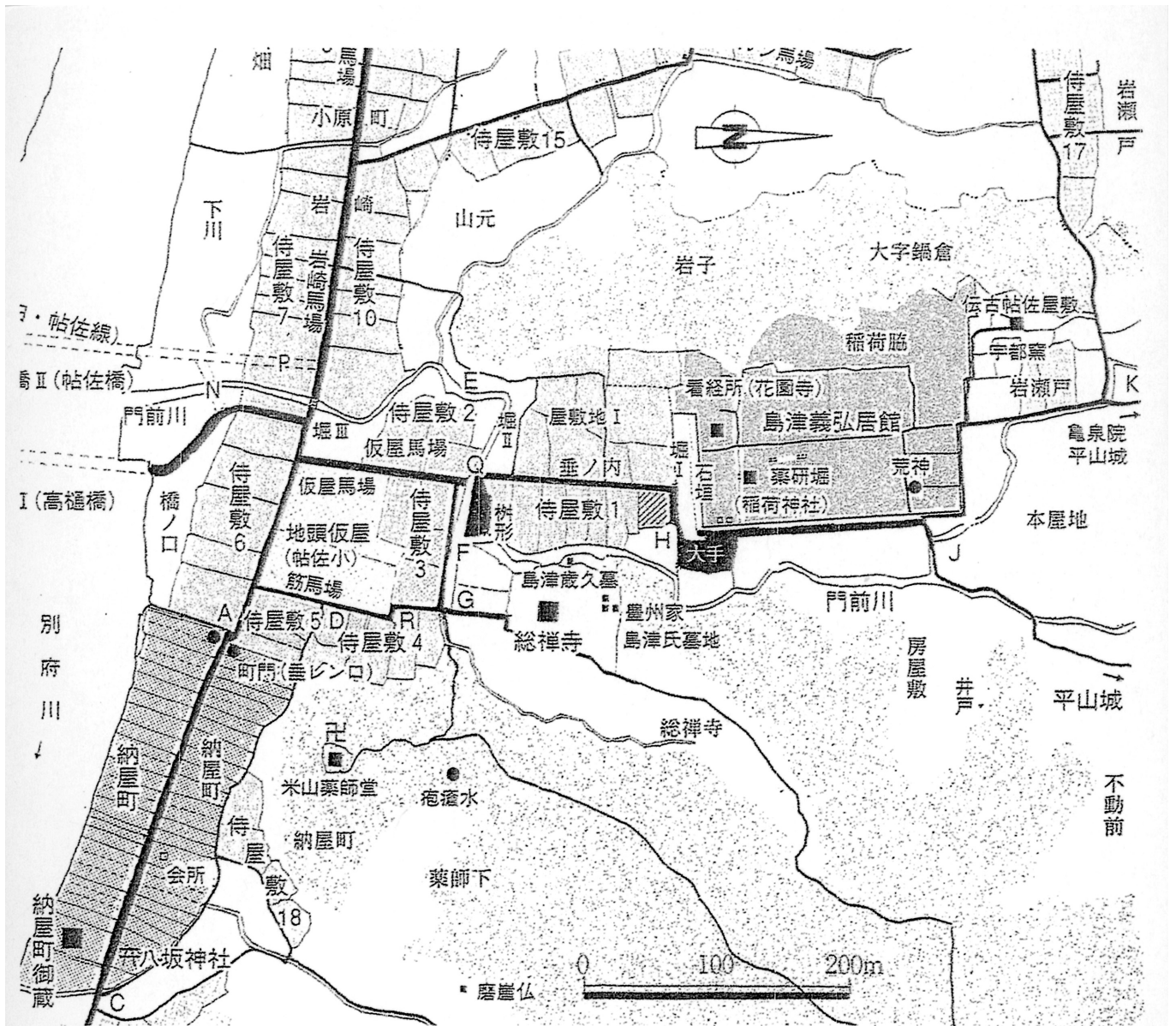
実施日 毎年鹿児島神宮初午祭の次の日曜日

(市指定 無形民俗文化財)

帖佐校区内の指定文化財など一覧表

No	区 分	名 称	所在地など
1	県指定 史跡	古帖佐焼宇都窯跡	始良市鍋倉1375
2	市指定 有形文化財	三十六歌仙額	// 新生八幡神社
3	// 史跡	島津豊後守季久の墓	// 総禅寺墓地
4	// //	島津豊後守朝久の墓	// //
5	// //	御屋地様の墓	// //
6	// //	本田勝吉の墓	// 天福寺墓地
7	// //	膝跪驛の墓	// 亀仙院墓地
8	// //	天福寺磨崖仏	// 天福寺墓地
9	// //	島津義弘居館跡石垣	// 帖佐稻荷神社
10	// 無形民俗文化財	帖佐八幡神社浜下り	// 新生八幡神社
11	// //	帖佐十九日馬踊り	// 帖佐稻荷神社
12	// 天然記念物	帖佐八幡神社の大銀杏	// 新生八幡神社
13	名 所 ・ 史 蹟	米山薬師	//
14	//	花園寺跡	//
15	//	島津義弘の御茶水	//
16	//	平安城跡	//
17	//	高尾城跡	//
18	//	岩淵水神	//
19	//	はがね山製鉄所跡	//
20	//	元立院焼窯跡	// 西餅田 壺屋
21	民俗工芸品	帖佐人形	//

帖佐麓推定復元図



帖佐麓推定復元図(「歴史の道大口筋白銀坂保存整備報告書」より転載)

(3) 帖佐校区コミュニティ協議会の組織体制

設立平成27年8月11日



Ⅱ 帖佐校区の現状と課題

(1) 帖佐校区の現状

○ 自治会別人口・世帯の状況

自治会名	世帯数	人 口			高齢化率 %
		男	女	計	
豊留	76	71	72	143	47.6
深水	24	24	27	51	49.0
三拾町	110	115	124	239	35.1
上麓	130	129	145	274	35.4
水流寺	64	63	89	152	30.9
岩崎	51	37	56	93	55.9
仮屋	31	30	37	67	44.8
宇都	133	125	152	277	39.4
納屋町	51	57	67	124	36.3
鍋倉	97	91	97	188	37.8
左岸地区計	767	742	866	1,608	39.05
高樋	917	994	1,115	2,109	13.6
上場	214	243	264	507	22.3
青葉台	406	459	461	920	32.5
朝日ヶ丘	94	88	106	194	46.4
上場団地県営	40	51	69	120	10.8
みさと台	292	346	366	712	26.5
右岸地区計	1,963	2,181	2,381	4,562	21.7
校区合計	2,730	2,923	3,247	6,170	26.2

住民基本台帳 平成28年5月1日現在

○ 校区内の主要施設

名 称	所 在 地
帖佐小学校	始良市 鍋倉 663
帖佐中学校	// 西餅田 1586
帖佐幼稚園	// 鍋倉 634-1
帖佐保育所	// 鍋倉 740
帖佐地区公民館	// 鍋倉 646-3
若葉学園	// 鍋倉 190-2
始良郵便局	// 鍋倉 1483-3
始良西部森林組合	// 三拾町 1371
鹿児島有機農業 技術支援センター	// 三拾町 1397-14
あいら齋場 悠久の杜	// 鍋倉 400

(2)校区の特徴:課題

校区を構成する自治会数は16自治会で、人口が最も多いのは高樋自治会、最も少ないのは深水自治会で各自治会の規模に大きな違いがある。

さらに校区を流れる別府川(県2級河川)により、

右岸側の 高樋、上場、青葉台、朝日ヶ丘、上場団地県営、みさと台の6自治会

左岸側の 豊留、深水、三拾町、上麓、水流寺、岩崎、仮屋、宇都、納屋町、鍋倉の10自治会に 二分されています。

これを世帯数、人口で比べてみると右岸側7に対し、左岸側3の割合になっており、

まちの雰囲気も「右岸側」が市の中心商店街大型スーパーなどに隣接し人口増が続く比較的新しいまち、

「左岸側」は史跡が多く歴史を感じさせる古さが残っているまちというイメージがあります。

「右岸側」「左岸側」ともに成り立ちや環境等も大きく異なりコミュニティとして校区内の調和を図っていくことの難しさがあります。

校区の主な課題としては

○子供どうしの交流、大人社会における世代間交流の機会が少なくなり、全体として隣近所との交流が希薄になってきている。

○高齢化の進行

一人暮らしの高齢者が増え老後の生活支援が不安

催しや活動に参加できない高齢者が多くなり行事等の開催が困難になってきている。

○生活環境の悪化が進んできている。

管理が行き届かない空地、空家が増えてきている

交通量の増、大型車両の通行など交通事情の悪化

○地域資源の活用

他校区に比べ多くの地域資源(史跡など)を有しながら活用保存対策など

不十分、宝の持ち腐れになっている。

などがある。

(校区コミュニティ協議会アンケート調査結果などから)

Ⅲ 帖佐校区が目指す将来像

豊かな自然につつまれ別府川を挟んで左岸地区と右岸地区が一体となって順調に発展してきた校区が一層活力あるまちに発展していくために将来像を次のとおり掲げる。

スローガンは

ふれあいの心豊かなひとづくり
思いやり和と輪の絆でまちづくり

(1)分野別の目標

分野別	目標
○自然環境	豊かな自然を愛し自然とともに生きる帖佐
○地域づくり	笑顔あふれる潤いと活力に満ちた帖佐
○地域・人の和	世代を超えた信頼と連帯感に支えられた帖佐
○健康・子育て	みんなが元気な暮らしやすい帖佐
○安心・安全	安らぎのある安心で安全な帖佐
○他機関・団体との 連携	

(2) 専門部別の取り組みと役割分担

総務部

分野	事業名	事業内容	役割分担	実施時期
総務	コミュニティ協議会の企画・運営		校区	短期
	各専門部、自治会との調整・連携		校区	短期
	広報活動	「協議会だより」の発行	校区	短期
地域資源活用	地域伝承行事支援	八幡神社浜下り・十九日馬踊りの支援	校区	短期
	里山めぐりコースの設定運用	稻荷神社を中心に散策コースを設定 桜公園までの安全な通行確保	協働	短期
	校区憩いの場整備	・別府川堤防に桜並木の散策路整備 川遊びができる憩いの場 右岸左岸をつなぐ人道吊橋の架橋 ・始良温泉の復活	行政	長期
			協働	長期
史跡見守り隊の設置、運用	史跡の見回り、道路、駐車場、PR、などを担当する観光サポート隊の設置、運用 メンバー15名程度	校区	長期	
防災・環境	交通網の整備	県道42号は年々交通量が増え危険 山田口から加治木隼人に開通する道路の新設	行政	長期
	防災 有害鳥獣対策	防災研修、訓練の実施 有害鳥獣対策講習会の実施	校区	短期
	空家、空地対策		協働	中期

青少年育成部

分野	事業名	事業内容	役割分担	実施時期
青少年 育成	あいさつ 愛の声かけ運動	年4回強調月間	校区	短期
	登下校の見守り活動	校区内の危険箇所等点検	校区	短期
	校外補導の実施		校区	短期
	帖佐っ子を育てる会の開催		校区	短期
	地域伝承行事への参加・ 協賛	八幡神社浜下り	校区	短期
	帖佐塾の開講	小学校5年～中学生を対象に ふるさとの歴史などを学ぶ塾開講	校区	短期

地域福祉部

分野	事業名	事業内容	役割分担	実施時期
福祉	ふれあいいいききサロン交流会	校区内いきいきサロン研修・交流	校区	短期
	高齢者等見守り活動	ひとり暮らしの高齢者等を地域で見守り	協働	短期
	高齢者健康教室の開催	・高齢者の健康増進 寝たきり予防のため運動教室を開催 ・交通事故防止講習会の開催	校区	短期
	手作りマーケットの開催	農産品、手芸品などの作品を展示販売 小学校バザーと同時開催できないか	校区	短期
	校区文化交流会の開催	趣味など日頃の活動発表の場を設け交流を図る	校区	短期
	若葉学園との交流	グラウンドゴルフ大会の実施	校区	短期
	福祉委員研修	福祉施設訪問など	校区	短期
	年末街頭募金活動		校区	短期

健康増進部

分野	事業名	事業内容	役割分担	実施時期
健康増進	スポーツ大会推進	校区全体が参加するスポーツ大会の実施 「ペタンク」ほか4種	校区	短期
	校区ウォーキング大会の実施	校区の史跡めぐりを兼ねた親子ふれあいの場として	校区	短期

役割分担や実施時期

役割分担		実施時期	
校区	校区内で取り組むこと	短期	1～3年で取り組む
協働	校区と行政が共同で取り組むこと	中期	3～5年で取り組む
行政	行政が取り組むこと	長期	10年以内で取り組む

IV 計画の推進に向けて

帖佐校区まちづくりプランは4つの専門部会のこれまでの活動実績と、構成団体からのアンケート、皆さんから寄せられた意見、要望等をもとに策定しました。計画は、実施時期を短期(1～3年)中期(3～5年)長期(10年内)に設定し、進捗状況を把握しながら、必要に応じて見直しを図り行政や関係団体との連携を取り一層充実した計画になるように検討を重ねていくことにしております。計画を推進し達成するには、校区住民の理解と協力が不可欠です。計画には夢のようなと思われるものも盛り込まれております。校区の一層の活性化のために皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

V 資料編

1. 自治会別5年間の世帯数
2. まちづくりプラン策定の経過
3. 帖佐校区まちづくりプラン策定委員
4. アンケート調査結果

1 帖佐校区自治会毎の過去5年間の世帯数・人口の状況

上段＝世帯数

下段＝人口

区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
豊留	79	78	77	77	76
	162	161	152	149	143
深水	23	23	24	23	24
	44	46	49	47	51
三拾町	114	114	113	112	110
	249	251	245	241	239
上麓	121	123	129	127	130
	272	261	261	264	274
水流寺	66	70	72	67	64
	155	167	166	155	152
岩崎	61	61	58	53	51
	121	117	111	99	93
仮屋	31	30	30	30	31
	63	66	68	68	67
宇都	137	137	132	130	133
	298	283	275	258	277
納屋町	45	45	44	47	51
	108	105	101	113	124
鍋倉	98	94	97	94	97
	191	188	191	188	188
高樋	799	815	893	904	917
	1,915	1,904	2,015	2,077	2,109
上場	196	198	202	204	214
	489	501	483	486	507
青葉台	394	406	405	402	406
	902	923	931	907	920
朝日ヶ丘	84	87	89	91	94
	197	198	195	193	194
上場団地 県営	56	53	53	49	40
	179	172	171	154	120
みさと台	281	290	283	284	292
	588	708	688	685	712
校区計	2,585	2,624	2,701	2,694	2,730
	5,934	6,051	6,102	6,084	6,170

住民基本台帳 各年5月1日

2. 校区まちづくりプラン策定経過

期 日	項 目	内 容	会 場
平成28年 6月21日	校区コミュニティ 協議会役員会	校区まちづくりプラン策定の 取組みについて協議	協議会 事務所
8月23日	校区コミュニティ協 議会役員会	校区まちづくりプラン策定の具体的な進め方 について協議 策定委員会の設置:委員は協議会 役員とする	〃
10月11日	まちづくりプラン 策定委員会	校区まちづくりプラン協議 策定の目的 今後の予定 策定項目 策定の時期	〃
11月15日	校区コミュニティ 協議会だより 「ふれあい帖佐」発 行	校区の皆さんへ 校区まちづくりプラン策定の概要についてお 知らせ	協議会 広報紙
12月20日	まちづくりプラン 策定委員会	校区まちづくりプラン協議 校区の現状 今後の予定 構成団体に対するアンケート調査	協議会 事務所
平成29年 1月25日	構成団体に対する アンケート調査依頼	まちづくりプランの概要を説明 アンケート調査の実施、協力要請 アンケート集約結果まとめ H29. 2. 28	構成団体
2月21日	まちづくりプラン策定 委員会	まちづくりプラン策定進捗状況説明	協議会 事務所
3月21日	まちづくりプラン策定 委員会	アンケート調査等の結果協議 課題 将来像について	協議会 事務所
4月27日	校区コミュニティ協 議会総会	まちづくりプラン策定の状況報告まちづくりプ ランのスローガンを提案し承認を受ける	地区公民館
6月20日	まちづくりプラン策定 委員会	まちづくりプランの素案について協議	地区公民館
7月21日	まちづくりプラン 素案検討	まちづくりプラン素案について 市 地域政策課と協議	
10月17日	まちづくりプラン策定 委員会	まちづくりプラン検討 最終確認	協議会 事務所

3. 帖佐校区まちづくりプラン策定委員会委員

役 職	氏 名	校区コミュニティ協議会役職
委員長	大重洋二	会長
〃	竹下敬喜	〃 <平成28年度>
副委員長	瀬戸口健	副会長
委 員	黒江景文	会計
〃	脇園節夫	総務部長
〃	大山幸雄	青少年育成部長
〃	垂水武彦	地域福祉部長
〃	若松榮二郎	健康増進部長
〃	中尾 洪	事務局長

4. アンケート調査結果

平成29年1月25日

各団体代表者殿

アンケート調査依頼について

自治会をはじめ、帖佐校区内で活動する多くの団体がひとつの組織にまとまって共通の課題解決を図り活力ある地域コミュニティの構築を目的に「帖佐校区コミュニティ協議会」が結成されました。

平成27年8月設立以来ここまでかならずしも目的に沿った活動がなされているとはいえませんが、帖佐校区の皆さんが、今以上に生き生きと過ごすためのまちづくりに向けてその指針となる「帖佐校区の振興計画」を検討しています。

別添えの帖佐校区の現状等を参考に、夫々の活動団体が直面している課題・問題点・夢などについてご教示いただき、振興計画策定の参考にさせていただきたいと考えております。

御多忙中とは存じますがアンケート調査にご協力よろしくお願い申し上げます。

希望提出期限 2月15日

帖佐校区コミュニティ協議会
会 長 竹下 敬喜

アンケート調査結果

1 設立されて1年半が経過しましたが、今後の校区コミュニティ協議会にどのようなことを期待しますか。

・コミュニティ→地縁・血縁の共同体の色をこゆく出すと若年層がよりつなくなる可能性が出てくる。

※アソシエーション→趣味・特技でのコミュニティを表面に出すと活動が活発になるのでは。(高樋自治会)

・この地に住む人々が、自らこの地に住んで良かったと感じるような、またこの地の人たちは皆が助け合い支えあって生きていると思うようなそんな地域を作るために、コミュニティはそれらの人たちを支えるまたは共に活動する組織体であってほしい。(朝日ヶ丘自治会)

・参考資料にあるように、右岸地域は商店街に隣接し、地域の発展も進んでいるが、左岸地域は高齢化が進み、空き家もますます増え、生活道路の整備も遅れています。今後はコミュニティの重要課題として良く協議をしていただき、帖佐校区全体の発展に貢献する校区コミュニティ協議会として活動していただきたい。(宇都自治会)

・設立目的に掲げた地域コミュニティを着実に機能させるには組織の土台がしっかりしていることが基本。拙速ではなく一步一步実績を重ねながら校区の皆さんから頼りにされるような組織に成長して欲しい。(岩崎自治会)

・各種行事に対して校区の皆さんが気軽に参加できるような雰囲気づくりができないか。(深水自治会)

・①グラウンドゴルフ競技など小規模自治会も参加できる仕組みを考えてほしい。

②以前小学校の運動会で自治会対抗リレーは色別対抗であった。

(参考) 白組(豊留・深水・三拾町) 黄組(上麓・岩崎)
緑組(水流寺・宇都・仮屋) 紫組(納屋町・鍋倉)
赤組(高樋・上場) 等々

③子どもの教育には、家庭教育・学校教育・社会教育が大切とされる。学校5日制、週休2日制の根幹は、家庭教育・地域社会教育の重視・充実にあったと認識している。地域での子供同士の活動、住民とのあいさつなどが十分とは思えない。(上麓自治会)

- ・校区住民をもっと多く参加していただいて行事を行うことを期待する。
 (鍋倉自治会)
- ・4つの専門部が成果を上げるための努力、工夫、行動力等々のご苦勞に感謝いたします。これらの努力を無駄にしないため、また生かしていくことが重要と思います。一人一人の意見も重要ですが、それぞれの問題点・課題を明確にし共有できる仕組みを強化してほしい。右岸、左岸、その中自治会でも異なると思えるのでコミュニティ全体としての認識が持てるような方法の構築。
 (三拾町自治会)
- ・結束力が乏しいように思います。
 祭り事がない。(浜下り・十九日馬踊りを除く)
 小・中・幼稚園あげての合同企画等が必要。
 帖佐グラウンドを活用したイベント行事も考えたい。
 (老人クラブ 青葉台悠遊クラブ)
- ・協議会発足1年半、実感として大きな変化を感じません。もう少し短いスパンでの校区の動向などの広報紙発行などどうですか？(回覧でも結構です。)
 (青葉台自治会)
- ・始良市の全校区関係活動。
 (豊留自治会)
- ・まずは現状の専門部の活動内容が衰退することなく少しでも充実発展していくように推進。
 (仮屋自治会)
- ・校区民一人一人に「校区コミュニティ協議会」の意義や役割等について理解を深めてもらうため、また住民の要望等を聞くために全体会を年に一回程度開いてはどうか。
 (水流寺自治会)
- ・地域が活性化するようにお互いの考えや意見または悩み(問題点)などを発言しやすい場となしてほしい。
 (上場自治会)
- ・各部会の動きがお互いにわかるよう。そのことにより、住民の方々への周知、協力を得ながら住み良い地域づくりができる一因になるのではないかと思います。
 (みさと台自治会)
- ・全体的に各専門部の目標に向けてがんばっていく方向性はみえてきました。
 (納屋町自治会)

2 校区コミュニティ協議会とあなたの団体との関わりはどうあるべきだと考えますか。

- 自分の自治会の組織が伝統的にしっかりと受け継がれているので校区のは必要ないと思う事象がある。 (高樋自治会)
- お互いに交流しあう。
共通の課題に共通に係わり合い解決を図っていくような関係であってほしい。 (朝日ヶ丘自治会)
- 当自治会行事等に近隣の自治会も参加・協力をしていただき、近隣自治会との協力関係を培っていきたいことから、校区コミュニティ協議会に両者の橋渡しをしていただきたい。
また、校区コミュニティ協議会全体でも各自治会行事を掌握され、校区の発展に貢献していただきたい。 (宇都自治会)
- 校区コミュニティ協議会の組織の下で、自治会内で結論が出せる活動と、各団体で解決が困難で校区全体に関係する課題に仕分けして役割分担しながら校区の一体感を醸成していく。 (岩崎自治会)
- 農村部で小集落そして高齢化が進む自治会のため各種行事への参加者が少ない状況であり、農家を対象とした行事などできないか。 (深水自治会)
- ①緑の羽根募金活動の助成で桜苗木の植樹活動及び自治会での花見を盛り上げたい。近隣自治会、校区コミュニティとの共催を考えたい。
②校区コミュニティ主催のグラウンドゴルフ大会・ペタンク大会等への参加は、自治会の男女、各年代層がバランスよく参加できたらよい。 (上麓自治会)
- 今のままで良いと思います。 (鍋倉自治会)
- 本来一体であるべきと思います。そのために人材の発掘が必要と感じます。私自身の能力不足で良く理解できてないのが現実です。 (三拾町自治会)
- 老人クラブ加入自治会中6自治会の活動のみである。
私が考える老人クラブは高齢化が進む中で健康面が気になっています。健康づくり・生きがいつくり等、ロコモティブシンドローム(筋肉の衰え・関節症・骨粗しょう症)の活性化と認知症の防止を考え運営したい。
人間関係の構築。一人家族への声かけ。(老人クラブ 青葉台悠遊クラブ)

- ・コミュニティ組織が地域住民によくわからない。
活動の内容の説明また理解。 (豊留自治会)
- ・協議会の行事等に気軽に参加しやすい企画・活動内容の検討。
(仮屋自治会)
- ・小規模な自治会のため年度初めの総会で新役員決めに苦勞している状態である。コミュニティ協議会としてどう関わってもらえるだろうか。
(水流寺自治会)
- ・協力し合い全体として発展していく関係であればと思う。 (上場自治会)
- ・自治会住民を主とした協議会になるような活動になればと思います。
(みさと台自治会)
- ・帖佐校区は別府川を中心にして左右に分かれた16自治会です。北側の自治会は10自治会、南側が6自治会となっていて北側にある納屋町自治会は小さい自治会ですが、コミュニティ協議会ができて小自治会でも近くの自治会とよりそって大きな行事もできるのではと思っています。別府川沿いに七夕祭りを、川沿いに対して長く表示できるのではと思っています。
(納屋町自治会)

3 あなたの団体の日常活動の中で感じている問題点、課題などがあればお聞かせください。

- ・特になし。
各種団体で計画された事業について、その該当する団体がリーダーシップを取りそれに自治会がバックアップしてきている。 (高樋自治会)
- ・自治会全戸が会員であるので活動については協力的で共同の精神は高い。ただ、高齢者の中には参加できない方が多くなっている。
サロン（高齢者を支える）実施しているが会員が増えない。
高齢化が進み行事等多く開催できない。
積極的なリーダーがいない。またリーダーになろうとしない。
(朝日ヶ丘自治会)
- ・地域ではより多くの自治会員に協力をしていただいているが、今後の自治会発展のために自治会役員等で自治会内の協力体制をますます強化していく必要があると思われます。
(宇都自治会)

- ・自治会を二分している県道42号：大型車の交通規制
 交通事故、排ガス、振動等
 空き地・空き家の管理
 高齢化率高い（55.9%） 行動できる会員が少ない。（岩崎自治会）
- ・高齢化が進み自家用車での外出が制限され、買い物・病院へはタクシー利用となり経済的に困難となるケースが増えるのではないか。（深水自治会）
- ・①子どもを持つ家庭の転入増はここ3～4年来のことである所為か、子どもや児童生徒が馴染みが薄いように思える。もっと馴染んでほしい。
 家庭教育・学校教育・地域社会教育が連携しての対策はないものか。
 ②大人社会においても世代間交流が希薄である。対策は。（上麓自治会）
- ・新しい火葬場ができて道路が整備され交通量が増えるのではないかと心配しています。（鍋倉自治会）
- ・高齢化、高齢者の一人暮らし生活。
 高齢者の災害時の避難方法、場所。
 子どもの減少、世代間のコミュニケーション不足。（三拾町自治会）
- ・2項で問題点を上げましたが、各自治会での会長が積極的・前向きな意見が必要です。
 各自治会でのいきいきサロンの立ち上げも推薦します。（老人クラブ 青葉台悠遊クラブ）
- ・今後、急速に進む高齢化の中での各種自治会活動のあり方が心配です。（青葉台自治会）
- ・高齢者の交通手段考える必要がある。（豊留自治会）
- ・世帯数減少、高齢化に伴い隣近所が希薄になり交流が少なくなった。（仮屋自治会）
- ・空き家が年々増え、管理者がどこにいるかわからない家もあり、雑草や木が茂ったりして環境が悪化したりして困っている。
 貸家等に入居しても届け等もない人がいるが、自治会に入ってもらいたいと呼びかけても応答がない。コミュニティ協議会としてどのように関わってもらえるだろうか。（水流寺自治会）

- ・大人も子どもも忙しすぎるように思います。 (上場自治会)
- ・私どもの自治会においてはその活動の中で、参加を望まない方が多いことです。 (みさと台自治会)
- ・小自治会ですが空き地に住宅ができて、班ごとの戸数の割り振りを考えていますが、もう一箇所2階建ての住宅ができて、その入居状態を確認してから班の構成を考えていきたいと思っています。 (納屋町自治会)

4 帖佐校区は市内で最も地域資源（史蹟）が多い校区の一つです。さらに魅力あるまちづくりのためにこの地域資源をどのように生かすべきかお考えをお聞かせください。

- ・他地方から見学にこられた人の感想ではPRが不足（看板等）つまり宝のもちぐされと聞かされたことがある。 (高樋自治会)
- ・どこにどのような地域資源があるかをマップにして各戸に配布する。看板等の設置をすすめる。
子どもたちへ地域の良さの啓発を進める。(学校教育との連携)
現在行われている行事（浜下り・馬踊りなど）の地域住民への啓発。
コミュニティ協議会として史蹟探訪等の行事を行う。
郷土の歴史を語る会開催など。 (朝日ヶ丘自治会)
- ・我々の校区の多くの史蹟をもっと多くの市民や多くの方々に知っていただくために、今以上に行政に働きかけをし、校区コミュニティ協議会内でも企画立案を積極的に行い行政に協力を求めながら、校区の発展に貢献していただきたい。 (宇都自治会)
- ・地元が史跡を愛する気持ちを持つ。
朽ち果てるまで手入れせず→消滅<天福寺磨崖仏など>
史蹟の維持管理—任意団体 管理公社の設置<各自治会応援>
帖佐校区の史蹟紹介本発行—校区内の全戸配布 (岩崎自治会)
- ・①史蹟の多い稲荷神社から桜公園間の道路整備。
②各史蹟への遊歩道の整備。
③別府川堤防沿いの桜並木の整備。
以上の項目を順次区市へ陳情していく。 (深水自治会)

- ・①指定文化財が豊富である。四季を通じて観光客をよびこみたい。
各史蹟の整備と史蹟に通じる道路の整備・拡張をお願いしたい。
 - ・②別府川の堤防―左岸・右岸に桜を植樹し、子どもから老若男女が共に誇りに思える美しい郷土作りをしたい。地域創生に一番の効果だと思ふ。
別府川の堤防上部から2メートルあたりに5～6メートル間隔で桜を植樹したい。
(上麓自治会)
- ・他の地域で資源（史蹟）が生かされている市外の魅力ある所などを視察するなどして勉強会などをしたらどうでしょうか。
(鍋倉自治会)
- ・現在の史蹟数だけで生かす方法では限界があるのでは。
まず一つに絞ってそれに集中して活動、PRを行い、まず一度来ていただく。次にリピーターになっていただくために何をすべきか？を考える。
(例 テーマ「馬」 馬踊りを充実。馬を使つての観光地めぐり企画等々)
(三拾町自治会)
- ・まず史蹟等の見学、説明をぜひお願いしたい。
私自身、東京からこの地に越してきて16年になりますが詳しくは知りません。
ウォーキングをかねて見学会の実施をやっていただきたい。
我々が知らないと会の中でも伝えることができない。
「語り部」制度みたいなしくみもありかなと思ふ。
(老人クラブ 青葉台悠遊クラブ)
- ・校区には多くの史蹟などが点在しますが、もう少し史蹟周辺やアクセス道路など整備を進めることが先決と思います。
(青葉台自治会)
- ・史蹟の環境道路整備 駐車場回り整備
始良市の全校区関係活動
(豊留自治会)
- ・多くの地域資源（史蹟）を観光地（史蹟めぐりコース）とし、各史蹟の整備、道路の整備、駐車場の確保などの推進。
(相当な財源を伴うので市の行政機関とタイアップして) (仮屋自治会)
- ・「史蹟めぐり」を校区民に呼びかけ、市の観光案内の人をお願いして、地域資源についての理解を深めていく計画を立ててみてはどうだろうか。
(水流寺自治会)

- ・ 竜馬ウォークに参加した経験があるが、ウォーキングやスタンプラリーをしながら史蹟を巡り、人が訪れると良いと思う。
（また、所々にちょっとしたおいしい食べ物「おやつ」などふるまえたら良いと思う。）（上場自治会）
- ・ 史蹟、浜下り、馬踊りなどの校区の資源について、まず、住民の方々への理解を深めていただくことを考えていくべきではないかと思います。
例えば、広報紙によるそれぞれの内容周知とか。（みさと台自治会）
- ・ 別府川をはさんで左側の10自治会の中にはいる納屋町自治会です。この地に20以上の文化財があります。その文化財を基本に左右関係なく共に文化財を基本にした発展を願っています。（納屋町自治会）

5 こんな帖佐校区になって欲しいという夢をお聞かせください。
景観、交通、地域づくり、人づくりなど

- ・ 帖佐校区に居住する全戸が、自治会員 or 準会員になって欲しい。
（高樋自治会）
- ・ 校区内には別府川という大きな川がある。この川の流域に歩道（散歩）や公園をつくり、川遊びができるようなそんな憩いの場がつけられたらいいなと思う。カヌーカッターで遊べるような場を。（朝日ヶ丘自治会）
- ・ 上記でも回答したが左岸地域の多くの鎮守の杜・史蹟をもっと多くの市民や多くの方々に知っていただきたい。そのためには、行政への景観の改善、改良・道路整備を今以上にしていただきたい。その中核を担うのが校区コミュニティ協議会だと思いますので、協議会だけにとどまらず多くの地域住民の意見を聞き、他人事にならず校区の発展にまい進していただくために多くのプロジェクトを提案していきたい。（宇都自治会）
- ・ 別府川を生かして
吊り橋（人道橋）の設置 堤防には桜並木、芝桜
設置場所：みさと台の下～上麓方面
帖佐橋から上流・船津橋まで右岸左岸行き来できない。
（岩崎自治会）

- ①整備された道路と遊歩道には桜並木と外灯があり、各史蹟には案内板も整備され、人々の目を楽しませる地域にできないだろうか。
 - ②別府川の堤防沿いに桜並木が整備され多くの花見客が集う地域にできないだろうか。 (深水自治会)

- ①県道川内加治木線は年々交通量が増加し、また車種も大型化し非常に危険な状況にある。
山田口から加治木・隼人に開通する道路の新設工事を急いで欲しい。
 - ②温泉施設がないのは始良市では帖佐校区だけではないか。旧始良温泉(旧鍋倉温泉)の温泉源を活用して温泉施設を作って欲しい。
住民の憩いの場・交遊の場となり、健康長寿のまちづくりにつながる。 (上麓自治会)

- 位置的に始良市が鹿児島県の中心地というならば始良市の中心地は帖佐校区といっても過言ではない。しかし、当校区は右岸地区と左岸地区では歴史、世帯数、人口、人口構成、持家、借家、昼・夜間人口比、高齢化率等々大きく異なっており、この差はますます拡大すると思える。よって異なる文化に二分されるので、左岸・右岸地区の長所と短所を校区として融通しあえる地域づくりができれば良いと思う。これが人づくりにも役立ちコミュニティの発展となるのでは！ (三拾町自治会)

- ①史蹟・文化財等、小学生をはじめとし見学会の実施をできれば行う。
 - ②催しごとの企画を取り入れたい。
幼・小・中がそろっている地域でもあり帖佐グラウンドを活用した企画づくりを考えたい。(合同企画)
例 物産展など(畑・田んぼに恵まれている)
 - ③夏は盆踊りなどの祭り事。
 - ④体育大会など。 (老人クラブ 青葉台悠遊クラブ)

- 同封の資料では世帯数なども表示されていますが、最近は相当の家族が同居別世帯が増加しています。(参考まで)
 - 提案
 - ①松原校区などで実施されているフリーマーケットなど帖佐校区でも幸いにして広い帖佐グラウンドなどを利用して農産物、手芸品など校区で頑張っている方々の出番も。
 - ②校区各種スポーツ大会も戸数の少ない自治会は合同でチームを編成して多くの皆さんが参加できるように検討を。 (青葉台自治会)

- ・別府川の左岸沿いを緑地帯、公園、広場をつくり住民の憩いの場として開発していけたら。 (仮屋自治会)
- ・①大型スーパー等ができて交通量も増え、特に朝夕の通勤・通学時は米山交差点付近は大混雑し、右折ができなくて救急車等が走って来た折は大混乱の状態になってしまうことが考えられ、また、事故等の発生する可能性も大きいのではないかと。早急に米山交差点の問題を解決して欲しい。

②各自治会の規模が異なり集まる場所のない自治会もあり、運動会等を実施している所や実施できない所もあるので地域の活性化の一つとして「校区運動会」等を実施してみてもどうか。

③災害訓練等を校区コミュニティ協議会で年1～2回程度、避難訓練もかねて実施してみてもどうか。(消防分団の協力も)

(水流寺自治会)
- ・みんなに愛される地域になって欲しい。(上場自治会)
- ・人と人との優しく交じり合えるような地域になっていければと思います。(みさと台自治会)
- ・始良市となり我々の帖佐校区は大体中心地であります。山あり川ありの自然に恵まれた素晴らしい校区であります。始良市のトップをいく町づくりを願っています。(納屋町自治会)

平成29年12月
帖佐校区コミュニティ協議会
〒899-5411 始良市鍋倉646-3
電話 0995-73-7584
Fax 0995-73-7590